

令和 5年度

社会福祉法人 清風会

日向市立養護老人ホーム ひまわり寮

事業経過報告書

重点目標実績報告

令和5年度の重点目標

《個別ケアの充実》

- ・5年度は新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となり、行事やクラブ活動の再開の検討を行うことができたが、実際にクラスターが発生し充実した活動はできなかった。
外出の機会や活動の機会が少ない中で、ご利用者は部屋や談話室で過ごす時間が多く、全体的な筋力低下、機能低下、認知症の進行がみられた。職員数も余裕はなく、施設内（職員にて）行える体操や歩行運動等を感染状況に応じて行った。
- ・体調の変化に応じて静養室の利用や居室変更、また簡易ベッドからの立ち上がりを補助するための介護用品や歩行補助具などを適切に見直しや試行しながら、利用者自身が出来る事の継続支援をおこなった。
- ・クラスター発生後、感染予防及び事故対策のため、食事、入浴等を「竹寮」と「松寮」とに分けた支援を行った。
- ・ご利用者の状態変化時にはご家族に連絡し、必要な受診の相談や今後についての意向を伺い、対応を行った。

《職員の育成促進と定着に向けた取り組み》

- ・外部のキャリアパスの研修を受講し、自身のキャリア形成についての意識を高めることができた。
（初任・中堅・リーダー）
- ・腰痛予防や事故防止を図るため、朝礼後に利用者と一緒にラジオ体操を行った。

《安心と安全を提供できる取り組み》

- ・事務所のカウンターの窓がしるありの被害により倒れたため、窓枠及び窓の交換を行った。
- ・床材の老朽化が著しく、支援員室の床の張替えを行った。
- ・敷地内に溜め置かれていた不燃物の処分を行い、環境整備を行った。
- ・不適切介護やスピーチロックが発生しないように、施設内で研修を行った。
- ・感染症の発生時にはご家族等に、施設内の感染状況やご利用者の療養中の状況等の報告を行い、不安の軽減を図った。

《安定した経営への取り組み》

- ・空床を解消するため自治体との連携を図ってきたが、1月以降6名の退所があり、入所が追い付かない状況にあった。（事故及び持病の増悪等により入院すると、退院帰寮が困難な状況となり退所につながっている。）

《地域との連携》

- ・感染症対応時を除いて、買い物ツアーへの参加ができた。（自宅 ⇄ イオン日向）
- ・五十猛神社大祭のパレードで、地域の方たち3グループが来寮され、楽しく触れ合う時間を持つことができた。

【施設サービスの質の向上】

- * 継続入所者に関しては、ADL及び認知症等の維持改善に努めるとともに、疾患の状況等に関して日々の経過観察及び主治医連携に努め体調管理を行った。
- * 退院前のご利用者については、入院先の病院関係者とカンファレンスや連絡を密にとり、スムーズに施設復帰が出来るようにした。状況はご家族にも随時連絡し、退院後の状況等についても連絡を行った。
- * コロナ感染症の感染状況を見ながら、外出・面会・訪問理美容の利用も可能とし、ご利用者の不満解消に努めた。また、できるだけご利用者の要望や意見を生活に取り入れて、気持ちよく生活できる環境を整えた。
- * 養護一般利用者については、生活支援の向上に繋げられる自立支援計画を作成し支援を行った。
- * 読書が趣味の利用者も増えたので、自治会と相談しながら月刊誌などの定期購入を行った。
- * 特定施設の利用者に関しては、生活ニーズに基づく施設サービス計画の作成及びサービスの提供を行ない、困りごとを解消し自立支援のサポートを行った。

【職員の資質向上】

- * 一部オンラインや文書での研修に変更されたものもあったが、外部研修に多くの職員が参加する事ができ、他施設の職員等との意見交換もできた。また、研修後に自施設での伝達研修も行い、職員全体の学びとすることができた。
- * 施設内研修では動画やDVD視聴等を取り入れ、分かりやすい研修を行った。
- * 各職種間でのミーティング及び多職種間の情報共有について不足するところがあり、来年度はミーティングやケアカンファレンスを充実させ、職員一人一人の意識の向上とチームケアに活かしたい。
- * 資格取得に関しては、社会福祉士（1名）・介護支援専門員（2名）が受験したが、不合格であった。

【入退所調整業務】

- * 1か月平均入所者数：57.25人（月平均入院者：1.67人）

新規入所は11名であったが、退所は14名と入所者以上の退所者があり、年度末は5床の空きが出た。1月以降に6名の退所があり、入所が追いつかない状況にあった。

また、長期入院を要する退所は4名であったが、個室を希望されての退所と負担金に見合うサービスが受けられないとの理由での退所もあった。骨折事故での入院が6件あり、うち3件は施設復帰が出来なかった。施設復帰できた3件のうち2件は以前より日常生活に支援が必要となっている。持病が悪化して入院される場合もあり、入院中にADL低下が顕著となり施設復帰できてもすぐに特養入所となるケースもあった。

新規入所については、各行政機関と情報交換を密に行ったが、入所希望者のADL状況が対応困難な状態や入所希望でも数カ月先の入所を希望されるなど、入所者の決定には時間がかかった。また、空いている居室と入所希望者の性別が合わず、行政機関からの問い合わせに对应出来ないこともあった。

実践事項

1, 相談援助

【家族連絡】

- * 新規入所者については、在宅時の生活状況、好きな事などを詳しく伺い、できる範囲で在宅時に近い生活が送れるように支援した。また、ご家族とも連絡を取り、ご利用者の様子や要望等を伝え不安の軽減を図った。
- * 継続入所者については、施設サービス計画を立て身体状況の変化や健康状態に留意し、身体・生活面の支援を定期的に見直すとともに、感染状況やコロナ感染症の位置づけの変更に合わせて外出や面会の機会を提供した。
- * ご利用者個人に必要な手続きや申請等についても、必要時にはご家族に連絡を行い、ご利用者の不利益にならないよう支援を行った。

【相談援助】

- * 日頃からご利用者に声掛けを行い、会話の機会を作った。良く話をしてくれる利用者とならない利用者があり、訴えがない利用者の情報を収集する必要がある。
- * 自治会総会を活用して利用者の声を聴かせていただいたが、あまり意見が出なくなり自治会の在り方の検討が必要だと感じた。
- * 一般の方からの入所相談や、見学の対応も行った。
- * ご利用者間のトラブル発生時には、双方の話を聞いて解決策の検討を行った。また、自治会においても、お互いが気持ちよく過ごせるためにご利用者自身も考えて欲しいとお願いしてきた。

【地域とのつながりを大切に】

- * コロナ禍で慰問受け入れやボランティア等との交流が無くなっていたが、地域の行事への参加（五十猛神社大祭パレード観覧）ができた。
- * 日向市社会福祉協議会と各福祉施設が協同でおこなっている『買い物ツアー』を、感染状況に応じて行った。

2, 日常生活介護

【専門職としてのプロ意識を持ち、根拠のある介護を行う】

入浴 : プライバシーに配慮し、見守りや介護を行い常に安心して入浴が行えるよう支援した。

感染状況に合わせて、入浴の順番の変更や中止を検討し、ご利用者に理解していただけるように説明を行った。また、感染対応終了後も、感染予防対策を行っている。ゆとりのある入浴支援についても検討を重ね、改善を図っている。

介護においては自立を促し、出来ない箇所の支援を心がけた。

入浴時には全身状態の確認を行い皮膚疾患や転倒等痕跡の確認を実施した。

皮膚疾患については、専門医へ受診し、指示を仰ぎながら改善に努めた。

*入浴日（女性） 月・水・金曜日 → 月・木 / 水・土

(男性) 火・木・土曜日 → 火・金

- 排泄 : 排泄チェック表の活用・職員間の連携をより充実させ、排泄の声掛けを行い失禁や便秘の解消を図った。日ごろから便秘がちな利用者についてはより配慮していたが、便秘による体調不良と思われる事例が2件ほどあった。また、夜間の失禁について、チェック表を活用し個別に検討を行った結果、失禁が無くなった事例があった。
利用者ごとに排泄用具やパット類の選定を行い、気持ちよく過ごしていただけるよう支援した。
- 移動 : 食堂への移動時の転倒リスクが高いと思われ、弱者(杖・歩行器・車いす等の使用者)を先に誘導し事故予防に務めた。
ご利用者それぞれの歩行を補助する補助具と、安全に歩行できるための靴の選定を福祉機器の販売業者とともにに行った。
感染状況を見ながら、歩行運動やラジオ体操などを行った。
- 整容・口腔ケア : 声掛けやセッティングで、整容や口腔ケアの自立を促した。必要時には職員が義歯の洗浄や整髪・爪切り・髭剃りなどを行い、気持ちよく過ごせるように支援した。

3, 日常生活の支援

【整理・整頓・清掃を基本に清潔で快適、ゆとりある心地良い環境の中で生活できるよう支援する】

- ・個々の状況を把握し個別のニーズに応じられるような支援を行った。
- ・利用者個々に傾聴・受容・共感的理解を示し良好な援助関係が築かれるよう努めた。
- ・利用者の意思を尊重するとともに、集団生活がスムーズに送れる様に周りの利用者との調整も行った。
- ・居室の清掃確認等を定期的実施し、ご利用者と一緒に片付けや清掃を行った。
- ・移動が困難なご利用者については、要望を伺い買い物の代行を行った。
- ・ご利用者それぞれの好みを把握し、コミュニケーションのきっかけとした。精神疾患のあるご利用者の中には、特定の職員に固執するケースもあり、他の職員と協力し適度な距離を保ちながら支援できる様にした。また、乱暴な態度や口調で他のご利用者に不快な思いをさせる利用者については、多職種間で何度も検討を重ねている。
- ・ご利用者の制作作品を展示したり、日常の様子を写真を掲示したりして、ご利用者の意欲の向上を図っている。

4, 機能訓練

【多職種と連携し、情報共有する事で適切なケア・機能訓練を提供する】

- *コロナ感染症の位置づけは緩和されても感染予防は必要であり、外部からの立ち入りは制限されている。また、ご利用者のADLの状況も低下しており、外部講師による舞踊・音楽療法は一年間中止となった。個別リハビリ・マッサージ・カラオケ・DVD鑑賞・工作等の施設内で行える物を

提供した。カラオケについては、一時期再開したが感染予防の観点から中止となった。

- ・ ラジオ体操 月曜日～金曜日 朝礼後（談話室） * 2月から開始
- ・ 介護予防体操 火曜・木曜・土曜 おやつ後（食堂）
- ・ 各種クラブ活動 舞踊・音楽療法（中止中）園芸・カラオケを実施
- ・ 機能回復訓練 月1回（中止中）
- ・ 歩行運動 毎週水曜日 おやつ後 * 2月から中止
- ・ 個別リハビリ 随時
- ・ 脳トレ 個別

5, 健康管理

【ご利用者の健康上の相談にのり、自己管理を助ける】

- ・ 健康診断実施（4月・10月）
- ・ 瀧井病院・治田歯科・やまうち泌尿器科 定期往診
- ・ ご利用者への体調の聞き取りや、状態観察により体調の把握を行い、受診や状態観察を行った。
- ・ 医師・薬剤師の指導のもと適切な服薬・配薬管理を行った。

【家族及び他職種と連携を図り、予防的看護に取り組む】

- ・ 受診結果や処方内容について、家族への連絡と他職種へ適切な申し送りをした
- ・ 内服自己管理利用者をモニタリングし、内服忘れを予防・状況に応じて変更。
- ・ 感染症マニュアルをもとに季節性インフルエンザ・ノロウイルスその他の予防に努めた。
- ・ 新型コロナウイルスに関する研修や、発生時の対応について協議をすすめた。
- ・ 新型コロナワクチン予防接種（希望者）
- ・ インフルエンザ予防接種（10/27）
- ・ 肺炎球菌予防接種（対象者 6名）
- ・ 食前の手洗いの励行
- ・ 施設内の消毒施行（ジアッシュの散布を必要に応じ1～2/日・人が多く集まる場所にジアッシュの噴霧器設置）
- ・ 毎朝の検温（利用者）・出勤前検温（職員）の実施

6, 栄養管理

【毎日のおいしい・楽しい食事が、健康維持につながるという思いで食事を提供する】

- ・ 栄養指導の実施 : 過体重・低体重・高血圧・糖尿病など対象者への個別指導
- ・ 衛生管理の徹底 : 調理室・倉庫の清掃・消毒の定期実施、害虫駆除、検便
食中毒・感染症についての研修や他職種への指導
- ・ 嗜好調査の実施、個別聞き取りの結果を献立に反映させた。
- ・ 災害時に備え、備蓄品の準備及び管理を行った。管理・提供方法について、他職種への周知を行った。
- ・ その他 : 各種研修会への参加・行事食の充実・適時適温給食の実施
ご家族からの差し入れについて、身元引受人に文書を送付した。

7, 【事故防止・感染症対策】

- * 職員個々の意識及び知識を高めるとともに、小さな気付きを職員相互で共有し事故防止に努めた。
 - ・ 体調不良時の見守り強化、情報共有
 - ・ 事故報告書・ヒヤリハット報告書の検討
 - ・ 事故対策委員会、事故発生予防委員会、事故発生予防研修会の実施
 - ・ 車いす・杖・歩行器・シルバーカーの定期点検
 - ・ 市町村役場等との連携
- * 事故発生時には家族及び医療機関との連携を取り適切な対応を行った。
- * 職員の業務時間帯・内容と見守りが手薄になる時間帯を検討・調整し、見守りの充実をはかり事故防止につなげた。
- * 自室での単独行動において転倒リスクの高い利用者については、ご家族への説明の元センサーの活用や、居室を変更しながら、未然に防ぐ取り組みを行った。
- * 和室（簡易ベッド）からの立ち上がりが困難となっている利用者へ立ち上がり補助の機器を準備した。
- * 事故発生の多い利用者の事故原因を検討し、居室内の導線、履物、見守り方法、内服薬等について検討しリスク軽減に努めた。しかし、ご利用者の危険認識力の低下、身体機能低下等などの要因から対応が難しいケースも多いのが現状である。

8, 【苦情への対応】

- * 苦情受付から解決までの体制整備を図り、利用者や家族等が苦情を申し出やすい環境整備に努めた。
- * 日ごろの挨拶・会話を大切にご利用者の要望・不満をすくい上げ、苦情に発展する前に解消できる様努めた
- * 本人の意向やできる事等を共有しながら、必要な支援について都度検討し職員の処遇にバラつきがでない様にする事で「あの人はここまでしてくれる」等の不満が出るリスクを軽減した。
- * 面会時等で家族と会話し、家族の思いを理解するように務めた。
- * 自治会等でご利用者の意見を伺い、解決できる事は早期に解決するよう努めた。

9, 【社会活動の参加と地域交流】

- * 日向市社会福祉協議会と日向市内の介護施設が協同して行っている「買い物ツアー」にて財光寺地区の高齢者の送迎を担当した。
- * 五十猛神社大祭で地区の方にパレードで来寮していただいた。

10, 【環境美化・防災対策】

- * 環境整備に関しては常に清潔を保ち利用者が快適で安全に生活が送れるよう維持管理に努めた。
 - ・ 敷地内に溜め置かれた不燃物の処分を行い、環境整備を行った。
 - ・ 日常の清掃・消毒等は自治会の協力も頂き実施した。
- * 防災対策としては日常の防災設備の整備・点検の実施・緊急時の連絡対策の整備を図るとともに、消防計画に基づき防災訓練を実施した。災害発生を想定し、BCP訓練も行った。

1 1, 事務管理

- * 資産・備品等の適切な管理と整備
- * 適切な管理による経費削減
- * 環境整備の強化
- * 車輛運行の安全管理
- * 防災対策への強化

1 2, 施設設備等

- * スチームコンベクションオープン修理
- * 事務所カウンター窓交換工事（白蟻駆除）
- * 小浴室照明取り換え工事
- * 厨房給排水漏水修理
- * 給湯用ポンプ漏水修理
- * 自動火災報知設備 煙感知器故障取り換え
- * リクライニング型車いす購入（1台）
- * 電動ベッド購入（2台）

《行事・催し物》

令和5年度

月 日	内 容	特 記 事 項
4月5日	宮崎県議会議員選挙 期日前投票	利用者(3名)
4月6日・7日	訪問理容	希望者
4月11日	昼食選択食	井ぶり選択
4月20日	4月誕生会	焼き肉
5月8日	訪問理容	希望者
5月11日	カラオケ	利用者(8名)
5月15日	母の日プレゼント	和菓子
5月18日	5月誕生会	松花堂弁当
6月8日	衣料品販売	カヤシマ
6月9日	訪問美容	希望者
6月15日	カラオケ	利用者(7名)
6月19日	父の日プレゼント	和菓子
6月22日	6月誕生会	幕ノ内弁当
7月13日	7月誕生会	うな重
7月20日	カラオケ	利用者(8名)
7月26日	喫茶の日	ソフトクリーム販売
9月4日	昼食選択食	パン選択
9月14日	敬老祝賀会・9月誕生会	祝い膳折り詰め弁当 記念品(レジ袋)
10月19日	10月誕生会	鮎焼き・焼き肉
10月24日	訪問理容	希望者
10月27日	インフルエンザ予防接種	
11月2日	衣料品販売	カヤシマ
11月3日	五十猛神社大祭パレード観覧	希望者
11月16日	11月誕生会	
11月27日	選択食	中華料理
	訪問美容	希望者
12月7日	レクリエーション大会	
12月14日	大掃除	
12月21日	クリスマス会・12月誕生会	すき焼き クリスマスプレゼント
12月22日・23日	冬至(ゆず湯)	
12月29日	訪問理容	
1月11日	鏡開き(ぜんざい)	
1月18日	1月の誕生会	水炊き

2月2日	豆まき	
2月22日	2月誕生会	握りずし
3月4日	訪問美容	
3月15日	日向市長選挙 期日前投票	利用者(2名)
3月21日	3月誕生会	松花堂弁当
3月25・26日	訪問理容	
3月29日	喫茶の日	和洋菓子(シャトレーゼ)

《 上記以外 》

- | | | | |
|--------------|------|---------------|------|
| ・ 機能訓練(歩行運動) | 1回/週 | ・ ラジオ体操 | 5回/週 |
| ・ 売店 | 1回/週 | ・ 自治会総会 | 1回/月 |
| ・ 屋外散歩等歩行訓練 | 随時 | ・ 屋外園芸活動・個別リハ | 不定期 |
| ・ 体重測定・血圧測定 | 1回/月 | | |

*7/27~8/17 までコロナ感染症対応の為、行事は中止となった。

*12/26~1/7 までインフルエンザ対応の為、行事は中止となった。

外部研修参加状況

令和5年度

月 日	内 容	参 加 職 員
5月12日	令和5年度館内給食施設研修会	栄養士
5月18日～19日	福祉職員スタートアップ研修	事務員
6月 2日	令和5年度日向市社会福祉施設等連絡会総会	施設長・生活相談員・計画作成担当者
6月 3日	安全対策担当者養成研修（リモート）	事務員
6月 7日	令和5年度 労務管理研修Ⅰ（リモート）	事務員
6月15日	令和5年度 労務管理研修Ⅱ（リモート）	事務員
6月19日	安全対策担当者養成研修（リモート）	栄養士
6月21日	令和5年度 算定基礎届講習会	事務員
6月22日	令和5年度 労務管理研修Ⅲ（リモート）	事務員
6月29日	令和5年度 労務管理研修Ⅳ（リモート）	事務員
6月30日	県北ブロック養護老人ホーム幹事会・施設長研修会	施設長
7月 4日	会計・財務管理研修 福祉施設コース	事務員
7月20日	厨房の働き方改革セミナー	施設長・栄養士
7月21日	経営セミナー 会計・財務管理研修②	事務員
7月26日	安全対策担当者養成研修（リモート）	計画作成担当者
8月18日	県北ブロック支援員・介護職員研修（文書）	支援員
9月 1日	福祉職員スタートアップ研修③	事務員
9月 2日	認知症ケア専門士 スキルアップ研修	生活相談員
9月12日	令和5年度 社会保険制度講習会	事務員
9月15日	第2回県北ブロック養護老人ホーム幹事会 施設長・相談員研修会	施設長・生活相談員
9月21日	令和5年度 日向市社会福祉施設等連絡会 高齢者・障がい児者部会 BCPに関する合 同研修会	生活相談員
9月28日～29日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 `（中堅コース）	支援員
9月29日	県北ブロック栄養士・調理員研修（文書）	栄養士
10月3日～4日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 （初任者コース）	支援員
10月5日～6日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 （チームリーダー）	栄養士
10月 8日	令和5年度 介護支援専門員実務研修受講 試験	支援員（2名）
10月10日	県北ブロック相談員研修会（文書）	生活相談員

10月16日	精神障害のある人への理解を深める研修会	生活相談員
10月19日～20日	令和5年度九州老人福祉施設職員研究大会	主任支援員
10月31日	メンバーシップ研修 中堅職員	支援員
10月31日	令和5年度高齢者施設等における感染症予防対策研修会	施設長・主任支援員
11月 2日	利用者主体支援研修会	支援員
11月 7日	年末調整に関する事務講習会	事務員
11月 8日	チーム力を高めるコミュニケーション研修	支援員
11月17日	県北ブロック養護老人ホーム事務職員研修	事務員
11月17日	福祉サービス第三者評価の受審に関する研修会（リモート）	施設長
11月22日	令和5年度 九社連老人福祉施設協議会 養護部会セミナー	生活相談員
11月29日～30日	全国老人福祉施設大会・研修会議	施設長
12月1日～2日	社会福祉法人会計実務セミナー	施設長
12月 2日	認知症ケア専門士 スキルアップ研修	生活相談員
12月 7日	後輩に仕事を正しく教えるティーチング研修	支援員
1月11日	令和5年度介護保険施設等集団指導（動画配信）	施設長・生活相談員・事務員 ・計画作成担当者
1月17日	福祉職員スタートアップ研修	事務員
1月18日～19日	業務継続計画（BCP）研修	計画作成担当者
1月31日	日向市福祉施設等連絡会全体研修会（管理者向け）ハラスメント研修	施設長
2月 3日	第36回 社会福祉士国家試験	支援員
2月 9日	メンタルヘルス研修	支援員
2月 9日	令和5年度宮崎県福祉サービス苦情解決セミナー（リモート）	施設長・生活相談員・事務員 ・栄養士・計画作成担当者
2月13日	宮崎県民間社会福祉施設等従事職員共済制度事務説明会	事務員
2月13日	コミュニケーションを活かしたハラスメント対策	栄養士
2月14日	経営支援セミナー 会計・財務管理研修	事務員
2月15日～16日	九社連老人福祉施設協議会 施設長研修	施設長
2月24日	認知症ケア専門士 スキルアップ研修	生活相談員
2月27日	宮崎県老人福祉サービス研究大会	計画作成担当者
2月29日	令和5年度 社会福祉施設等給食研究会研修会	栄養士

各委員会活動報告

【事故対策委員会】

事故防止委員会： 年4回開催

- ◆事故報告書・ヒヤリハット報告書をもとに、事故発生時の検証及び防止対策について検討を行った。
- ◆事故の種類・事故の多いご利用者等について検討し、対策の周知を行った。

事故防止研修： 年2回開催

- ◆誤嚥のメカニズム(動画視聴)
- ◆介護リスクマネジメントと介護事故防

* 事故報告書・ヒヤリハット報告書が提出された時点で、事故の内容について職員に周知し、ミーティング等で対応策を検討している。年4回の事故防止委員会では、期間中に報告された事故の再検討を行い、事故のリスクの高いご利用者について情報共有を図った。

* 研修では、体力の低下したご利用者等に高リスクで発生する誤嚥について、動画を視聴しながら安全な食事の提供について学んだ。また、介護リスクマネジメントと介護事故予防研修では、防げる事故と防げない事故について明確に分けて考える必要があることについて学んだ。

* 令和5年度は介護事故が198件、ヒヤリハットが15件報告されている。そのうち179件が転倒で、そのうち6件が骨折事故であり、自治体に報告している事故となっている。いずれもご利用者自身で動いている時に転倒事故が起きている。

* 事故報告に対してヒヤリハットの報告が少ないので、事故とヒヤリハットの区別をする必要がある。

* 入所の時点でのリスクの評価を行い、リスクについて家族にも理解を求める必要がある。

【感染症対策委員会】

感染症対策委員会： 年5回開催

- ◆コロナ・インフルエンザ等についての感染予防について、予防策の検討やワクチン接種について検討を行った。
- ◆施設内での感染対応や感染対応解除についての検討。対応時の振り返りなどを検討した。(コロナ・インフルエンザ)
- ◆食中毒やその他の感染症について、予防対策等の確認を行った。

* 委員会や研修で、感染対策は平常時から備えることが大事であることを職員に周知した。

* 感染発生時の食事の提供やゾーニング等については、その都度ミーティング等で職員に説明を行った。(日々状況が変化するため、その都度の委員会開催はできなかった。)

感染症研修： 年3回開催(BCP研修含む)

- ◆コロナ感染症の法的な位置づけの変更について、施設での対応の確認や基本的な予防対策、BCP計画の確認を行った。
- ◆「高齢者施設における感染対策」DVD視聴(日向保健所より)
- ◆宮崎県の現在の感染症の状況、感染対策のポイント(再確認)

* 昨年5月よりコロナ感染症が5類となりいろいろな制限が緩和されたため、法人およびひまわり寮での対応を確認した。

- * 季節的にはノロウイルス感染も注意が必要となるため、基本的な対策や吐物処理等の研修を行った
- * 感染対応では、ガウンテクニックが必要となるため、実技を取り入れた研修を計画的に行いたい。

【苦情解決委員会】

苦情解決に関する研修： 年1回(受講：施設長・相談員・事務員・栄養士・計画作成担当者)

苦情受付：0件

- ◆苦情受付は0件であるが、ご利用者からは時々職員の状態、言葉遣いについて訴えが聞かれた。職員会議、研修等で職員に話をしている。大きな苦情になる前に対策を行う。
- ◆利用者間でもいろいろと問題が起こっており、自治会で話し合いを行っているが、当事者に自覚がないため解決しない状態。

【高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会】

虐待防止・身体拘束廃止委員会： 年4回開催(高齢者虐待防止委員会と身体拘束廃止委員会を一体的に開催)

- ◆ご利用者の姿勢保持や転倒防止対策での器具の使用について。
- ◆不適切ケア、言葉の虐待(スピーチロック)について

* 座位保持が困難な利用者や転倒リスクの高い利用者について、体幹を支えるような器具や転倒時に頭部を保護するための帽子の使用について検討を行った。

* 職員が意図せずに行った支援や発した言葉が、虐待やスピーチロックにつながっていないか検討した。

虐待防止・身体拘束廃止研修： 年2回開催

- ◆高齢者虐待・身体拘束についての、基本的知識
- ◆「スピーチロック」の問題点(動画視聴)

* 施設内では職員による虐待や身体拘束に当たる事例は報告されていないが、職員が意図せずに不適切なケアが発生しているかもしれない。研修を行い、各職員が自分のケアを振り返る機会になった。

* どんな言葉が「スピーチロック」に当たるのか、態度・口調について学ぶことができた。今後はご利用者の気持ちを尊重できるような「言い換え」について研修を行いたい。

【危機管理委員会】

危機管理委員会： 年1回開催

- ◆災害発生時の安否確認(ご利用者・職員)の方法について
- ◆職員の参集基準について

* 安否確認シートの準備や確認後の報告等について検討した。また、日中は全職員、夜間は施設長をはじめ徒歩圏内に居住する職員が出勤する。(自宅の被害や受傷程度による)

* 備蓄品の保管場所の確認や日向市のハザードマップの確認を行った。

危機管理研修(BCP 訓練)： 年3回開催(1回は感染症)

- ◆南海トラフ地震想定(初動・避難誘導訓練)
- ◆北部平野部を震源とした地震想定(BCP 計画書をもとに机上訓練)

* 地震発生時にとる命を守る行動についての確認を行い、ご利用者を安全に誘導する訓練を行った。

*BCP 計画に沿って、現在の施設の状況について検討を行った。非常食の備蓄やインフラ停止時に必要な物品等の備えについて検討を行った。

【ご利用者の生活の楽しみ・充実を考える委員会】

～今年度の取り組み～

- ① 食による楽しみの提供
- ② レクリエーションや余暇活動内容の協議
- ③ 利用者の声の代弁
- ④ 苦情解決委員会と連携し、接遇力向上に向けた取り組み

*ご利用者の要望を伺って、出前食を提供した。職員と一緒にメニューを見て自分で決め、出前が届くのを楽しみにされていた。

*レクリエーション大会の担当者とともに、計画し実施した。ご利用者は笑顔で参加されていた。

*自治会や日々の会話の中で聞かれたご利用者の意見を、ミーティング等で検討し職員間で共有した。

【ご利用者の安心・安全を考える委員会】

～今年度の取り組み～

- ① 施設環境の点検・清掃・補修
- ② 清潔な施設環境を作るためのクリーンアップ活動
- ③ 利用者の代弁

*施設の外回りや施設内の設備、福祉用具の点検などを行った。網戸の補修は未実施。

*不燃物の処分にもない、ご利用者の不要物や施設内に散在していた不要な物の片づけを行った。

【広報委員会】

～今年度の取り組み～

- ① ひまわり通信の作成・発送
- ② 掲示板の整理・ご利用者への情報提供・季節を感じる掲示等

*ひまわり通信は年4回作成、ご家族や関係機関への送付を行った。

*簡単な体操や健康管理に関する情報を、ご利用者の見やすい所に掲示した。また、施設内の壁面を使って、季節花の折り紙等で装飾を行った。

*ご利用者が趣味で描かれた絵や写真を個展風に掲示し、ご利用者に喜んで頂いた。

【給食委員会】

給食委員会：月1回開催

*衛生管理や業務及び、利用者の嗜好や健康状態についての検討を行った。

*行事食や季節に応じた食事の内容等の検討や、提供後の振り返りを行った。

*厨房内での事故予防対策や、調理器具の安全な使用方法についての確認を行った。

*感染対策中及び感染予防の為に、食事の提供方法の変更等を多職種で検討した。

【レクリエーション実行委員会】

* 納涼祭の代替えとして企画、ミニゲームを2種類準備、その後食堂にておやつ(酒まんじゅう)を提供した。最初のゲームの進みが早く、2番目のゲームでご利用者の待ち時間が長くなってしまった。2番目のゲーム内容を少し変えて流れを良くした。どちらのゲームでも賞品(お菓子)が用意されているので、皆さん笑顔で参加されていた。

* 年2回の開催もできるのではないかな。

【敬老祝賀会】

* 今年も来賓は招かずご利用者と職員のための式典となった。豪華な祝い膳といつもとは違う服装の職員に、ご利用者にも改まった表情が見られた。

* 100歳のご利用者2名をはじめ、90歳以上が20名、平均年齢85歳となっている。(敬老会時)

【施設内研修・会議実施状況】

令和5年度

月 日	実 施 内 容	特 記 事 項
4月 7日	事故対策委員会	
4月 20日	企画会議 ・ 虐待防止・身体拘束廃止委員会	
4月 27日	職員会議 ・ ご利用者の生活の楽しみ、充実を考える委員会	
4月 27日	サービス担当者会議（1件）	
4月 28日	サービス担当者会議（2件）	
5月 18日	企画会議 ・ 感染症対策委員会	
5月 22日	サービス担当者会議（1件）	
5月 25日	職員会議 ・ 事故防止対策研修会	
5月 28日	サービス担当者会議（4件）	
6月 22日	企画会議	
6月 29日	職員会議 ・ BCP（感染症）研修	
6月 30日	サービス担当者会議（2件）	
7月 13日	企画会議	
7月 18日	サービス担当者会議（2件）	
7月 26日	サービス担当者会議（1件）	
7月 27日	職員会議（書面） ・ 事故対策委員会（書面）	コロナ感染症発生
8月 24日	職員会議 ・ 虐待防止・身体拘束廃止委員会	
8月 25日	サービス担当者会議（3件）	
8月 30日	サービス担当者会議（2件）	
9月 7日	感染症対策委員会	
9月 12日	サービス担当者委員会（1件）	
9月 22日	企画会議	
9月 28日	職員会議 ・ 虐待防止・身体拘束廃止研修	
9月 29日	サービス担当者会議（3件）	
10月 10日	企画会議	
10月 15日	ご利用者の安心・安全を考える委員会	
10月 16日	ご利用者の生活の楽しみ・充実を考える委員会	
10月 24日	サービス担当者会議（1件）	
10月 25日	サービス担当者会議（1件）	
10月 26日	職員会議 ・ 事故対策委員会 ・ BCP（自然災害）対策委員会	
10月 30日	ケアカンファレンス（1名）	
11月 1日	サービス担当者会議（1件）	
11月 9日	BCP（自然災害）対策研修	
11月 16日	感染症対策委員会	
11月 28日	サービス担当者会議（2件）	

地域等との交流状況（令和5年度）

体験学習・実習・視察等 施設来寮状況

月 日	団 体 名	特 記 事 項
6月	入所者現況調査（門川町：書面報告）	対象者2名
10月10日	日向市福祉課 生活保護係 聞き取り	対象者3名
11月3日	五十猛神社大祭パレード	前庭にて観覧
12月12日	諸塚村友愛訪問	対象者3名
1月	入所者現況調査（都農町：書面及び聞き取り）	対象者1名
3月	入所者現況調査（延岡市：書面報告）	対象者1名

社会福祉施設に係る指導監査及び実地指導

月 日	内容	主な検査項目	備考
5月19日	内部監査	令和4年度会計及び事業監査	

慰問・ボランティア・地域交流実績

月 日	団 体 名	特 記 事 項
4月25日	買物ツアー（日向社協）	イオン日向まで（1名）
6月27日	買物ツアー（日向社協）	イオン日向まで（1名）
7月13日	買物ツアー（日向社協）	イオン日向まで（1名）
7月25日	買物ツアー（日向社協）	イオン日向まで（2名）
9月26日	買物ツアー（日向社協）	イオン日向まで（2名）
10月12日	買物ツアー（日向社協）	イオン日向まで（2名）
10月24日	買物ツアー（日向社協）	イオン日向まで（2名）
11月9日	買物ツアー（日向社協）	イオン日向まで（2名）
11月28日	買物ツアー（日向社協）	イオン日向まで（3名）
12月14日	買物ツアー（日向社協）	イオン日向まで（1名）
1月23日	買物ツアー（日向社協）	イオン日向まで（3名）
2月8日	買物ツアー（日向社協）	イオン日向まで（2名）
2月27日	買物ツアー（日向社協）	イオン日向まで（2名）
3月14日	買物ツアー（日向社協）	イオン日向まで（2名）
3月26日	買物ツアー（日向社協）	イオン日向まで（1名）

防災研修会実施状況

令和5年度

日時	火点等	参加者
10月18日	給湯室より出火（夜勤想定）	利用者 52名 職員 10名
11月9日	地震発生（日中想定）*BCP訓練	利用者 55名 職員 10名
2月8日	支援員室より出火（夜勤想定） *総合防災訓練（放水訓練）	利用者 47名 職員 14
3月14日	地震発生（日中想定：机上訓練）*BCP訓練	職員 9名

関係機関合同会議

日時	実施内容	備考
6月5日	清風会理事会	
6月29日	清風会評議員会	
3月4日	清風会理事会	
3月27日	清風会評議員会	

令和5年度 入退所状況

入 所 者				退 所 者			
入所年月日	性別	年齢	入所前	退所年月日	性別	年齢	退所後
R5. 4. 28	女	98	自宅	R5. 6. 9	女	85	死亡
R5. 8. 30	女	90	自宅	R5. 6. 27	女	89	医療機関
R5. 8. 30	男	89	自宅	R5. 6. 29	女	91	死亡
R5. 9. 26	男	92	自宅	R5. 8. 18	女	96	死亡
R5. 10. 10	女	85	介護保健施設	R5. 9. 1	女	79	養護老人ホーム
R5. 10. 26	男	72	医療機関	R5. 9. 30	女	79	死亡
R5. 11. 1	女	88	自宅	R5. 10. 3	男	80	介護福祉施設
R5. 11. 27	女	80	自宅	R5. 11. 13	女	92	介護福祉施設
R5. 12. 6	女	91	自宅	R6. 1. 17	男	92	死亡
R6. 1. 26	男	81	自宅	R6. 1. 22	男	72	医療機関
R6. 2. 28	女	88	自宅	R6. 1. 30	女	91	有料老人ホーム
				R6. 3. 4	女	93	医療機関
				R5. 3. 8	女	86	死亡
				R6. 3. 13	女	95	医療機関

入所者状況

令和5年 3月31日現在

【年齢状況】

	65～69	70～79	80～89	90～99	100～	計	最高年齢	平均年齢
男性	0	7	9	2	2	20	101歳	83歳
女性	0	5	15	15	0	35	98歳	87歳
合計	0	12	24	17	2	55	101歳	85歳

【在所年数状況】

	1年未満	1年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年～ 15年未満	15年以上	計	最高在所日数	在所平均年数
男性	3	8	8	1	0	20	14年11ヶ月	4年11ヵ月
女性	6	16	9	4	0	35	10年	3年8ヵ月
合計	9	24	17	5	0	55	13年11ヶ月	4年2ヵ月

【所管別状況】

	日向市	美郷町	諸塚村	延岡市	門川町	都農町	合計
男性	15	1	3	1	0	0	20
女性	28	4	0	0	2	1	35
合計	43	5	3	1	2	1	55

【要介護認定者の状況】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0	0	3	1	1	1	0	6
女性	0	0	5	2	4	2	0	13
合計	0	0	8	3	5	3	0	19

【移動状況】

	自立	シルバーカー	歩行器	車椅子	杖	介助 (車椅子使用含)	合計
男性	12	1	2	0	3	2	20
女性	12	2	8	7	5	1	35
合計	24	3	10	7	8	3	55

【排泄状況】

	自立	声かけ誘導	介助 (見守りを含む)	計	尿取りパット 使用	紙パンツ使用 (夜間のみ含)	合計
男性	16	3	1	20	3	10	13
女性	24	1	10	35	10	6	16
合計	40	4	11	55	13	16	29

【入浴状況】

	自立	一部介助	全介助	見守り	合計
男性	10	7	3	0	20
女性	10	19	5	1	35
合計	20	26	8	1	55